

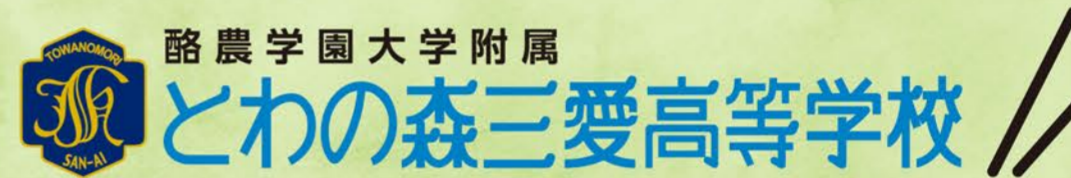
イオン北海道からみなさまへ

イオン北海道は酪農学園と 包括連携協定を締結しました

協定締結式の様子



酪農学園フェア



今回のフェアでは
イオン江別店から排出された
食品廃棄物(パン)を活用した
「エコフィード※1」を給与して
飼育した豚肉と、同豚肉を
100%使用した酪農学園大学
オリジナルベーコン等を
販売しました。



とわの森三愛
高等学校の
生徒さんが育てた
ポインセチア等を
販売

※1: エコフィードとは

環境にやさしい(エコロジカル) や節約する(エコノミカル) 等を意味する「エコ」と飼料を意味する「フィード」を併せた造語で、
1.食品製造副産物 2.余剰食品 3.調理残渣 等を利用し製造された家畜用飼料のことです。

包括連携協定の締結を記念しイオン江別店で「酪農学園フェア」を開催

イオン北海道は、10月17日(火)、相互連携を強化し、地域の資源循環の取り組みを推進するため、学校法人酪農学園と包括連携協定を締結しました。本締結に基づき、当社と酪農学園は「食品系バイオマスの活用に関すること」、「教育・研究に関すること」、「インターンシップ等、学生との交流に関すること」など、計5項目において、より緊密な連携を図ってまいります。

また、協定の締結を記念して、12月1日(金)～3日(日)の3日間、イオン江別店で「酪農学園フェア&えべつ産品フェア」を

開催し、酪農学園の商品を販売しました。

今回のフェアは協定の一環として実施し、酪農学園の商品を販売するとともに、学生が実際に店頭での接客も行いました。さらにフェアの期間中、インターンシップを行い、酪農学園の学生がバックヤードの見学や、実際に当社で働く従業員に話を聞くなど小売業について学びました。

当社はこれからも、酪農学園と連携し、地域の活性化やSDGsの推進に資する取り組みを推進してまいります。

SDGsの
取り組み



SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標2、4、7、12、17の達成に貢献します。